

No.66

熊広報

令和元年12月15日
熊地区広報発行委員会
発行責任者
熊地区長 伊藤 誠
公民館長 満吉 保憲

第二十四回熊地区文化展

熊地区長 伊藤 誠

十一月二日(土)と三日(日)の二日間に、第二十四回熊地区文化展を開催することができました。



伊藤地区長のあいさつ

二日間とも天気に恵まれ、熊地区内外から合計四百八十八名の方々に来館していただきました。

国會議員・県會議員・市會議員の方々、泉田・高津波地区の役員、刈谷市歴史博物館・織機ボランティアセンターの方々に来館していただきました。

二階は熊地区の方が作られた盆栽が、お出迎えしています。

右壁にはたくさんの方々の写真が飾られています。特に数点、何時間もシャッターチャンスを狙い、ワンチャンスをとらえた鳥の姿があります。

絵画と書道は写真に負けずと見ごたえのある作品ばかりです。

左壁には熊郷土史研究会の刈谷城下町絵図が掲示されています。刈谷城を中心に丸く収めた絵図で、城下町が詳しくかかれており、用紙の大きさと書かれていたたくさんの方々の家々は圧巻そのものです。

子ども会の絵と習字もたくさん出していただきました。

幼児、小学一・二年生が頑張りました。中学生も出してきています。また、小学生が工芸品を出してくれました。

多数の一閑張りの作品が、小さいものから大きいものまで所狭しと並べられています。展示場の一角には、熊地区と関係のある泉田地区作品展示コーナーもありました。熊地区には今までなかったステンドグラス、木造の仏像彫刻はすばらしいです。

工芸・手芸品を多数出してくださいました。恒例の五円玉で作られたカエルです。DIYサービスこだまより多くの作品が出されました。



泉田地区の作品

クリスマスを意識した婦人会の作品で、クリスマスツリーが花盛りです。一階は生け花の展示で、若葉会が工夫を凝らした作品です。抹茶の接待では、小さい女の子が緊張しながら重い茶碗を運んでいました。

屋外では新作の中万燈の展示があり、子供たちが子供万燈を舞い楽しそうでした。婦人会が焼いてくれた団子は盛況でした。赤十字奉仕団と熊地区で交流会がもてなした豚汁、柿、コーヒール、お茶は好評でした。

野菜の販売、趣味の会の小物、バルーンアート、竹細工、風車も好評でした。多くの出品者、来館者に恵まれ、文化展を無事に終了できたことをうれしく思います。

若葉会(生け花)だより

若葉会 代表 竹中 ゆかり

「お花に癒されて」

熊地区文化展に、毎年出品させていただいております。

文化展の出品作品は、今までおけいこしてきた集大成です。今年も力作がそろい、みんな満足しています。

花材の中で、自分がイメージする生け方で自由に生けています。意外と、その方の雰囲気や性格などが何となくわかりま

す。流派は、「池坊」です。耳にされたことがあると思います。

月二回(第一・三、月曜日)、市民館で、「杉浦則子先生」を迎えておけいこをしています。

年齢層は様々で、会のみなさんと和気あいあいとした雰囲気、有意義な時間を過ごしています。

年齢問わず生け花に興味ある方は一緒におけいこしてみませんか。

若葉会の作品

生け花の準備状況

趣味の会だより

趣味の会 代表 中村 朋子

趣味の会は平成二十年度婦人会で、工芸をテーマにして製作したクラフトバッグを文化展に展示したのが始まりです。翌年から有志数人で月一回集まるようになりました。市民館の和室でワイワイ賑やかに集うメンバーのなかの出来栄え作品に、熊地区文化展を盛り上げて、今年で十年です。

プラスチックバンドや麻紐のバッグやカゴ、新聞紙ブローチ、古布の小物、袋物、ぞうり、装飾品、なま帽子等々数え切れない作品を手がけました。

特別な先生はおりませんが、器用な方々がリードしてくださり、毎月第三火曜日の午後の時間と室にて作りたい物をそれぞれのペースでお茶を飲みながら、口と手を動かしています。

趣味の会の作品

「来る者は拒まず、去る者追わず」で現在十二人前後、来年の干支(えと)「子(ね)」の試作品を見ながら次回の文化展には、どんな物を並べたら皆さんにも喜んでもらえるかなと考えています。どうぞお楽しみに。



良い経験だった秋の大祭

六年 水谷 綾那(あやな)

私は、秋の大祭でいろいろなお手伝いをしました。

私はおみこしをひいて町を歩いているときにごしゅうぎを集めて、持つてきてくれた人にお餅を渡す役でした。ごしゅうぎを持つてきてくれた人にお餅を渡すときに「ありがとうございます」や、「どうぞ」をしつかり言うて渡すことができたのでうれしかったです。

また、渡したときに「ありがとう」とお礼を言われたので心が温くなりました。普段日常生活でもあいさつ、お礼、返事をよくするのでこれからも心を込めてあいさつやお礼、返事をするようにしていきたいです。

お抹茶を出すお手伝い

四年 深谷 雪莉(せり)

わたしは、十一月二日に熊地区文化展のお抹茶を出すお手伝いをしました。少し早めの時間からお手伝いをしました。

文化展に来た人にお菓子をほんごんたり、お抹茶をほんごんたりしました。お抹茶をほんごぶときに下に布をひきました。最初はお菓子をはごぶだけだったけれど、とちゅうから大人のの人に教えてもらいながら、お抹茶をたてて出しました。きゅうけいの時に自分でたてたお抹茶を飲んでみました。とてもおいしかったです。

手伝いにきてくれた中学生の人たちや大人のの人に教えてもらったのでわかりやすかったです。やったことがなかったので不安だったけれど楽しかったです。



第四十八回すもう大会

子ども会 会長 酒井 珠希

秋晴れのすばらしい日になった十一月二日(土)に、刈谷市子ども会すもう大会が行われました。熊子ども会は一昨年、昨年と団体戦で優勝しているので、今年は三連覇し優勝記録をつなぐことができるか、プレッシャーと期待の中、十八名の子どもたちが精一杯戦い、見事に優勝することができました。



大会参加の子どもたち

初めは自信のなかった子も、他の子たちの応援に力をもらい勝利の喜びが自信になった子、負けてしまっても次こそは！と悔しさを次への力に変えた子、どの子もキラキラとした表情で、一生懸命な姿を見せてくれたすばらしい大会でした。

違う学年でチームを組み、力を合わせる競技は、他ではなかなかない事なので、このような経験ができたことも子どもたちには良かったのではないかと思います。来年もみんなで力をあわせる楽しさを味わってもらえたらいいと思います。



おみこし町内びき



お抹茶出し

婦人会よりお知らせ

婦人会 広報長 正木 真由美



二日間共に秋晴れの良い天気恵まれ、文化展にはたくさんの方が来場されました。



出展作品

品がでできあがりしました。展示にも工夫を凝らし華やかでかわいらしい空間を作ることができました。



みたらし団子の販売

らできました。二日目は早々に完売してしまいうれしい悲鳴でした。これからも地域の方々と共に熊地区を盛り上げていくお手伝いができるように活動していきたいと思います。

恒例のみたらし団子の販売。初めこそ焼き加減に悪戦苦闘しましたが、だんだんと上手く焼けるようになっていきます。

熊老壮会だより

熊老壮会 広報担当 林 吉良



刈谷市いきいきクラブ連合会主催 秋の歩け歩け大会に参加しました。11月6日刈谷市青果市場に集合して、



参加者のみなさん

フロアールガーデンよさみ周辺を歩きました。市内から750名熊地区から9名参加し、9千歩位歩きました。

快晴に恵まれ、気温22度。満開のコスモスに迎えられる心地よい散歩日和でした。来年も春秋二回開催されます。皆さん是非参加されてみませんか。

さて令和元年を締めくくると熊老壮会の行事ですが12月21日「多彩な催し満載の大忘年会」、12月23日お楽しみ買い物ツアー、



歩け歩け大会

「きいながしま港市、なばなの里イルミネーション見学」を計画しました。皆様の多数の参加お待ちしております。

熊野神社だより

熊野神社氏子総代 神谷 光明



【例祭を終えて】

十月十三日(日)に無事例祭を終えることが出来、熊地区皆様に感謝申し上げます。前日まで台風十九号の進路予報が直撃とのことで予定していた準備が思うように出来ませんでした。

配布用お餅の袋詰めも例年は子ども会さんのお力を借りていましたが、今年は暴風警報発令中のため氏子全員で詰めました。台風の影響を心配してテント、やぐらの紅白幕は当日の朝早く集合し整えました。氏子総代のみならず、地区の方々のお手伝いのおかげで例祭を迎えることが出来ました。氏子の方々もそれぞれ今出来ることを考え、動いていただき大変頼もしく思えました。

実際には台風の影響はほとんど受けずに済みしました。また、餅投げでは厄年会の方々、還暦を迎える方々に大変盛り上げていただき、皆さんが楽しみにして下さった祭礼を無事終えることができました。

氏子総代のみならず地区の方々のお手伝いのおかげと感謝申し上げます。

【奉賛金のお礼】

地区のみなさんからの奉賛金のご協力に、感謝申し上げます。

【初詣のお知らせ】

初詣はお神酒、ぜんざい、甘酒等準備してお待ちしております。皆さんごっつてお越しください。

刈谷城下町絵図を描くにあたり

熊郷土史研究会 副会長 三浦 洋治



元、頌和会の故竹中喜太郎氏が描かれた刈谷城下町絵図をご子息からお借りし、大坂夏の陣、洛中洛外図のように、立体的に描いてみました。

正徳期(一七一〇〜一七一六)ごろの城郭位置図に居宅、本丸、番所、桜馬場、椎の木屋敷、明屋敷が描かれています。喜太郎氏の描かれた絵図にも同じような居宅、本丸、番所などが描かれています。喜太郎氏はどなたの描かれた絵図をもとに描かれたのでしょうか。

正徳期に描かれた城郭位置図に安養寺が描かれていません。

喜太郎氏の描かれた絵図にも安養寺の屋敷が描かれていないのは何故でしょうか。また、昨年の木村善助氏が描かれた絵図にも描かれていないのも不思議に思っています。

木村善助氏が描がいた熊村土井家旧士族によれば、一一七家となっています。喜太郎氏の描かれた絵図は、城下町絵図と思いますが、一三三家も描かれています。

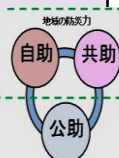
しかし、分限帳によれば約三〇〇家の土井家旧士族の名前は書かれており、この差は何なのかわかりません。

喜太郎氏の絵図の繊細さには、まったく驚かされ、よほど筆使いが達者であられるようです。

熊地区自主防災会だより

自主防災会

副会長 近藤 輝和



平成28年11月15日に、「熊地区防災の
お知らせ」として第1号を発行してから
丸3年。ひと月に1回、15日の日に発
行しています。

(令和元年度 発行分)

○29号 4月15日 防災会事務局

・10のお知らせとお願い

○30号 5月15日 防災会事務局

・役員の紹介と活動方針・計画

○31号 6月15日 防火消火部

・災害に備えて、消火器を設置

○32号 7月15日 給食給水部

・ポリ袋クッキング

○33号 8月15日 防災会事務局

・避難警戒レベル情報

○34号 9月15日 防災会事務局

・その時、あなたはこうする

○35号 10月15日 救出救護部

・防災家族会議

○36号 11月15日 避難誘導部

・みんなで、逃げ遅れゼロへ

今後も月1回のペースで発行していきま
すので、防災ファイルに保存し、有効に活
用してください。

いつか来る南海トラフ巨大地震に備え、
「防災のお知らせ」がその一助となれば幸
いです。

【お知らせ】

二つ目の防災倉庫を10月23日に設置
しました。防災備品をすこしずつ充実して
いこうと考えています。

青少年育成地域推進員だより

青少年育成市民運動

地域推進員 生川 正利



刈谷市は、家庭と地域の教育機能の充
実を図り、青少年の健全育成に努めるた
めに家庭教育啓発指導事業を実施して
います。そして、この事業の推進に協力し
ているのが、青少年育成市民運動地域推
進員です。

青少年育成市民運動地域推進員は、
公民館長の推薦により、市教育委員会
が委託し、各地区で公民館や学校と連
絡を取りながら、青少年の健全育成に
努めています。

具体的には、年三回の青少年育成推進
連絡会議での話し合い等を経て、地区で
の活動を推進しています。

【年間活動計画】

○令和元年七月九日(火)

刈谷市総合文化センターにて刈谷市
児童生徒愛護の集いの開催

○令和元年七月一六日(火)

JR刈谷駅前通路にて青少年の非行、
被害防止についての街頭啓発活動の実
施

○令和元年七月二十七日(土)
二十八日(日)

万燈祭夜間街頭補導活動の実施

○令和元年八月一七日(土)

わんさか祭り夜間街頭補導活動の
実施

○令和元年十一月二十日(水)

アピタ刈谷店にて子供若者育成支援
の啓発活動

○令和元年十二月二十日(金)

アピタ刈谷店にて青少年の非行、被
害防止の取り組みの啓発活動

刈谷市保健推進だより

刈谷市保健推進委員

加藤 美香



保健推進委員は市民が健康で元氣
な明るい暮らしが出来るようなまちづ
くりのために活動しています。保健セン
ターや各地区の市民館等を利用して、
運動や栄養教室や体操教室を企画し
て開催しています。

運動では、住み慣れた地域をウォー
キングしています。ゆっくりと散歩する
ことで近場であっても自然に触れ季節
を、感じ変化や新たな発見もあり新鮮
な気持ちになります。

また栄養教室では、今回は災害時の
食事について学びました。少ない調理器
具を使い、洗いを省くためにご家庭
にあるポリ袋を使ったメニューを紹介し
ています。



体操教室

もしもの災害時
に誰もが簡単に食
事を作れたら元氣
になります。

体操教室では、
講師を招いて3B
体操、リズム体操、
ヨガなどを行って
います。普段使わな
い筋肉をゆっくり
大きく動かす事で、
体の緊張もとれ、
軽くなり自然に笑顔
になります。

こうした活動に参加していただくこと
で、交流も深まり声を掛け合いお互い
に顔の見える安心して暮らせるような
まちを皆さまで一緒に作っていきます。

その時々に関心事に合わせて取り組んで
いきます。ぜひみなさんとも参加して
みてください。

刈谷市消防団第4分団だより

第4分団長 池田 裕介



日頃から四分団の消防団活動におきま
して地区の皆さまのご理解、ご協力をいた
だき厚くお礼申し上げます。

十月、十一月の活動として、十月
十三日に熊野神社の秋の大祭の警備をし、
十一月十日に刈谷自動車学校にてポンプ
車の運転の練習や緊急走行時における走
行の訓練を行いました。これには今年新た
に入団した女性団員も一生懸命頑張っ
ておりました。



第4分団のみなさん

また十一月はお
札配りを実施し
ました。地区内の
各家庭を訪問し
て住民の方とコミ
ニケーションをと
ることで私たちも
熊地区を知る良
い機会になったと
思います。

今後の活動として十二月二十九、
三十日に年末夜間特別警戒で地区内を
巡回させていただきましたのでその際は、ご
理解よろしく願います。

最後に、空気の乾燥している季節が続
きますので、今後も火の元には十分に注
意して安心して年越しを迎えましょう。

【編集後記】

地区の行事を中心に広報をお届け
しました。原稿を寄せていただいた方々に感謝
し、今後のご協力を強くお願い申し上げます。

広報委員 大村 賢一

高岸 眞弓

近藤 喜春

